

エコアクション21

環境経営レポート



有限会社田中企画

2025 年度
第20期

(取組期間： 2025 年4月1日 ～ 2026 年3月31日)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



発行日：2026年5月31日

目 次

ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業の紹介	7
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	8
主な環境負荷の実績	9
環境経営目標及びその実績	9
環境経営計画の取組結果とその評価	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無.....	12
緊急事態対応訓練	13
代表者による全体の評価と見直し・指示	14
これまでの環境活動の紹介	15



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ごあいさつ

有限会社田中企画は「誤美^{ごみ}から護美^{ごみ}への企画」をモットーに”環境^{まも}を護る”取組を行っています。
人間生活から出るゴミ 事業活動から出るゴミ ゴミ箱へ捨てればいい、すべて目の前から消えて
なくなればそれできれいになった、と思われるでしょう。

しかし、私達はそれを誤りだと考えます。

その今までであったゴミがどのような方法で処分され、また、どのように有効利用されるのかを
企画していくことで、『資源保護』『環境保護』につながっていくと考えております。

環境経営方針

『資源保護』『環境保護』を通して、本業である産業廃棄物収集運搬及び中間処理の事業活動における
環境負荷の低減を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・
積極的に取り組みます。

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、環境システムを構築・運用し、全社一丸となって
環境保全活動に取組み、環境経営の継続的改善を図ります。

さらに、顧客要求に真摯に向き合い、顧客満足度の向上を目指し、その要求に応えるためにも、
従業員が働きやすい職場環境を整備し、従業員一丸となって環境コミュニケーションへの取組を
推進をしていきたいと考えています。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減のために、省エネルギー（電気・燃料）に努める
 - ② 資源の有効利用のためにコピー用紙の削減、節水に努める
 - ③ 受託した産業廃棄物の再資源化促進に努める
 - ④ 受託先にリサイクル化、書類の電子化提案を促進する
 - ⑤ 顧客の環境負荷削減に貢献する
3. 環境経営活動の取組のために、社員が働きやすい職場環境の整備に努めます。
4. 当社のために働くすべての従業員にこの環境経営方針を周知します。



制定日： 2006年5月13日

改定日： #####

取締役 田中 茂年

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 有限会社田中企画
 取締役 田中 茂年
- (2) 所在地
 本 社 大阪府交野市星田北一丁目44番1号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者
 担当者 田中 佳菜子 TEL:072-810-2333
- (4) 事業内容
 産業廃棄物の収集運搬・中間処理、特別管理産業廃棄物の収集運搬
- (5) 事業の規模
 法人設立 #####
 資本金 300 万円
 売上高 7,176 万円
 従業員 4 名
 延べ床面積 1,460 ㎡

受託した産業廃棄物の処理

収集運搬量	1,115.82	t			
中間処理量	233.11	t	うち再資源化量	176.850	t
最終処分量					
中間処理後の産廃の処分量	233.11	t	うち再資源化量	176.850	t

保有車両

車種	台数	備 考
12.5 t アームロール	1 台	
8.0 t アームロール	1 台	
2.9 t ユニーク車	1 台	
軽トラック冷蔵車	1 台	
合計	4 台	

主要設備

名称	台数	備考
破碎機	1 基	
破碎機	1 基	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
積み替え保管施設	174.8 ㎡	54.7 ㎡	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社田中企画
 対象事業所： 本社
 活 動： 産業廃棄物の収集運搬・中間処理、特別管理産業廃棄物の収集運搬

□許可の内容

保有許可一覧

産業廃棄物中間処理業																		
都道府県 及び 政令都市	積替 保管	許可取得年月日 及び 有効期限	許可番号	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動物性 残渣	ゴム く ず	金属 く ず	ガラス く ず	が れ き 類	積替え保管施設の 所在地及び面積 許可の条件等
大阪府	無	2022年5月30日 2029年5月29日	02720103042						●	●	●	●		●	●	●		

事業区分 中間処理（破碎）

破碎施設 ①能力：91.3m³/日 設置年月日：平成15年（2003年）3月26日

②能力：7.7m³/日 設置年月日：平成18年（2006年）3月27日

産業廃棄物収集運搬業																		
都道府県 及び 政令都市	積替 保管	許可取得年月日 及び 有効期限	許可番号	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プラ スチック 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 物 性 残 渣	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類	積替え保管施設の 所在地及び面積 許可の条件等
大阪府	有	2022年5月30日 2029年5月29日	02710103042	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※1
京都府	無	2022年7月17日 2029年7月16日	02601103042		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
兵庫県	無	2023年7月 4日 2030年7月 3日	02803103042		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
奈良県	無	2023年8月31日 2030年8月30日	02900103042		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
滋賀県	無	2020年7月 9日 2027年7月 8日	02501103042						●	●	●	●		●	●	●	●	

※1 積み替え保管施設の所在地及び面積、許可条件等

所在地 交野市星田北一丁目323番、324番1

面積 174.8m²

積上げ高さ 1.3m

積替えできる産廃の種類 汚泥・廃酸・廃アルカリ・鉱さい（石綿含有産業廃棄物を除く）

がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）

廃プラスチック類・ガラスくず（石綿含有廃棄物に限る）

特別産業廃棄物収集運搬業													
都道府県 及び 政令都市	積替 保管	許可取得年月日 及び 有効期限	許可番号	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	感 染 性 廃 棄 物	汚 泥	鉱 さい	廃 石 綿 等	ば い じん	燃 え 殻	積替え保管施設の 所在地及び面積 許可の条件等
大阪府	無	2023年4月26日 2030年4月25日	02750103042	●	●	●	●	●		●			
京都府	無	2025年2月14日 2032年2月13日	02651103042	●	●	●	●			●			
兵庫県	無	2023年7月 4日 2030年7月 3日	02853103042	●	●	●	●			●			
奈良県	無	2023年8月31日 2030年8月30日	02950103042	●	●	●	●			●			

は、優良確認産業廃棄物業者として認められた許可証です。有効期限は7年となります。

口優良産業廃棄物認定取得済み許可証

大阪府
産業廃棄物処分業

令和4年5月30日

第02720103042号



大阪府
産業廃棄物収集運搬業

令和4年5月30日

第02710103042号



大阪府特別産業廃棄物
収集運搬業

令和5年4月26日

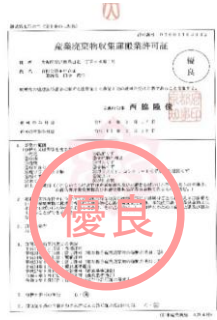
第02750103042号



京都府
産業廃棄物収集運搬業

令和4年7月17日

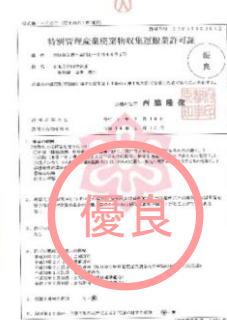
第02601103042号



京都府特別産業廃棄物
収集運搬業

令和7年2月14日

第02651103042号



兵庫県
産業廃棄物収集運搬業

令和5年7月4日

第02803103042号



兵庫県特別産業廃棄物
収集運搬業

令和5年7月4日

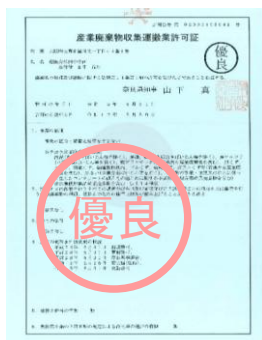
第02853103042号



奈良県
産業廃棄物収集運搬業

令和5年8月31日

第02900103042号



奈良県特別産業廃棄物
収集運搬業

令和5年8月31日

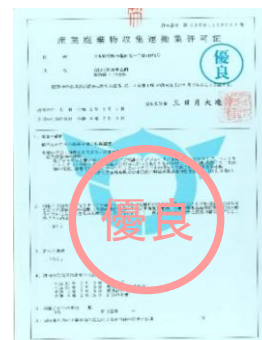
第02950103042号



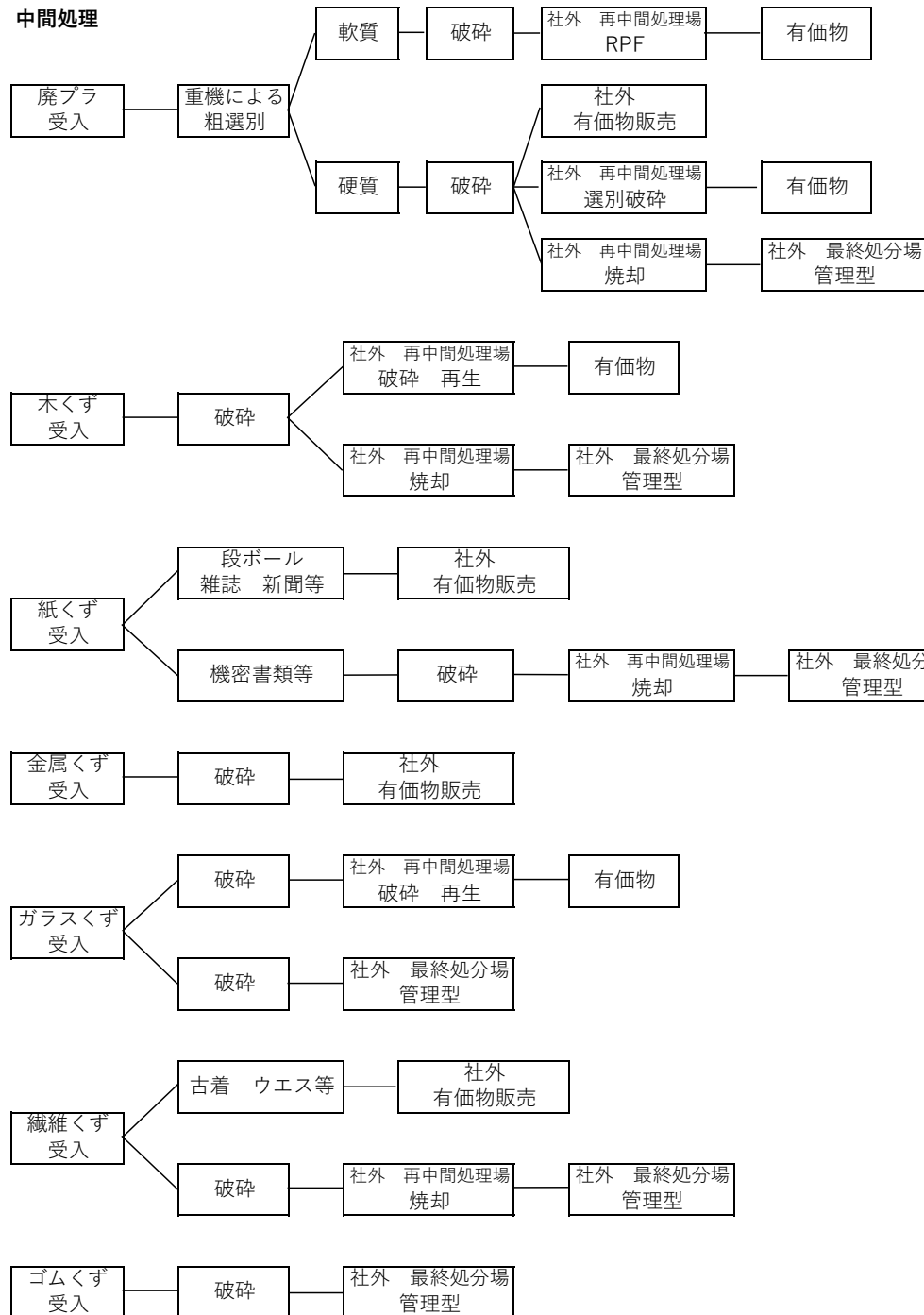
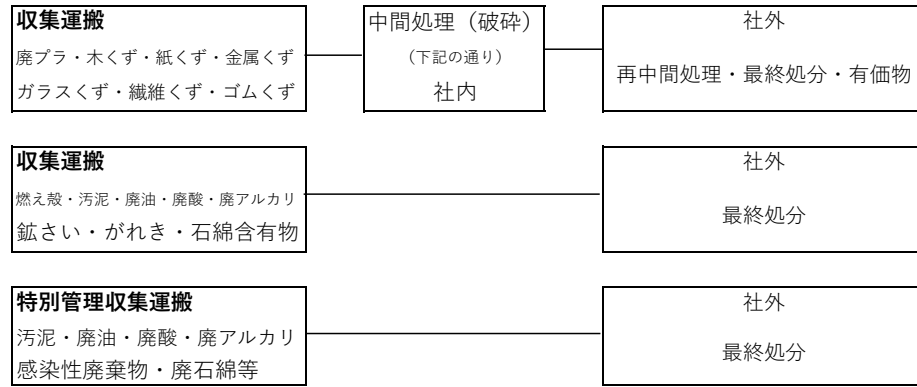
滋賀県
産業廃棄物収集運搬業

令和2年7月9日

第02501103042号



□廃棄物処理フロー



□事業の紹介

- 産業廃棄物収集運搬業 大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県の収集運搬ができます。（品目は許可内容参照）
すべての自治体の優良産廃事業者を取得しています。
- 産業廃棄物処分業 大阪府 産業廃棄物中間処理（破砕）を行っています。（品目は許可内容参照）
優良産廃事業者です。
- 電子マニフェスト【J W N E T】【e-reverse】、電子契約【er-contract】に対応しております。

◎産業廃棄物の仕分け



このように手選別することにより危険物等も安全に取り出すことができる

◎再生資源は種類ごと、細かく仕分け（写真は一部です）



◎アルミ缶リサイクル



◎トラックスケールによる正確な計測



計量証明業者



10kg単位で計測します



大阪府計量協会による定期的な検査も受けています



◎運搬車両・分別容器



12.5 t アームロール
8 t アームロール
2.9 t ユニーク車
軽冷蔵車



3.0/6.5/8.5/13.0/
17.0/27.0m³コンテナ
フレコンバッグ

環境経営組織及び役割・責任・権限

社長

環境管理責任者

総務・経理、営業
収集運搬、中間処理

所属	役割・責任・権限
代表者 社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・従業員に対する教育訓練の実施（専門教育） ・実施体制の構築
環境活動責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案のの作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・従業員への環境経営方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の実施（一般教育） ・環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練（指導/社長）を実施、記録の作成 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	10,451	8,858	10,504
Scope1（化石燃料）	kg-CO ₂	9,210	7,520	9,126
Scope2（電力）	kg-CO ₂	1,241	1,338	1,378
受託収集運搬量	トン	1,080	962	1,116
受託中間処理量	トン	277	223	233
受託最終処分量	トン			
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	37.5	30.0	51.5
産業廃棄物排出量	トン			
水使用量	m ³	16.9	13.8	21.6
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.318		
		関西電力		

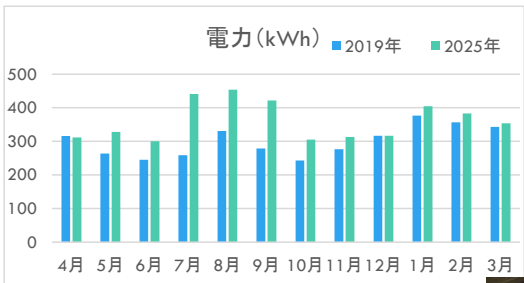
環境経営目標及びその実績

項 目		年 度	2019年度	2025年度		評 価	2026年度	2027年度
			(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 CO2排出係数0.318kg-CO2/kWh 関西電力 R1年度実績 R3.7.19一部追加・更新	kWh		3,608	3,601	4,334	×	3,601	3,601
	基準年度比			99.8%	120.1%		99.8%	99.8%
	kg-CO2		1,147	1,145	1,378	×	1,145	1,145
	基準年度比			99.8%	120.1%		99.8%	99.8%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2		9,066	9,066	9,126	×	9,066	9,066
	基準年度比			100.0%	100.7%		100.0%	100.0%
自動車燃費（ガソリン）向上	燃費（km/ℓ）		7.6	8.3	7.4	×	8.3	8.3
	基準年度比			109.5%	97.4%		109.5%	109.5%
自動車燃費（軽油）向上	燃費（km/ℓ）		4.6	4.7	4.7	○	4.7	4.7
	基準年度比			102.5%	102.2%		102.5%	102.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2		10,213	10,211	10,504	×	10,211	10,211
一般廃棄物の削減	kg		48.5	48.5	51.5	×	48.5	48.5
	基準年度比			100.0%	106.2%		100.0%	100.0%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%		－	86%	83%	×	86%	86%
水道水の削減	m³		21.0	21.0	21.6	×	21.0	21.0
	基準年度比			100.0%	102.9%		100.0%	100.0%
環境に配慮したIT化の促進		行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成 活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成 達成率83.1% 外気温による空調使用時間の増加や、13年目となるエアコンの経年劣化による効率低下が主な要因と考えられる。次年度はエアコンの買換えを検討し、空調効率の改善を図る。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	×	
・不要照明の消灯	○	
・工場内の昼間（日射）作業	○	



節電注意喚起



構内・事務所
LED照明

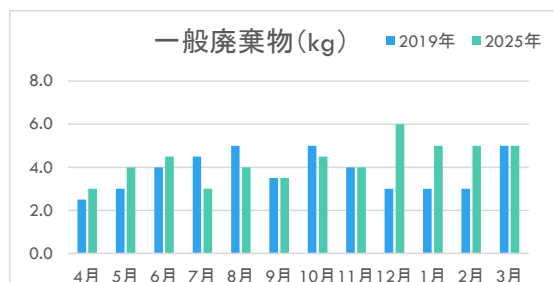


こまめに
エアコンフィルター清掃

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	316	264	245	259	331	279	243	277	317	377	357	343	3,608
2025年	312	328	300	441	454	422	305	313	317	405	383	354	4,334

(kWh)

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成 達成率106.2%
・パソコンによるFAX送受信	○	印刷前の再チェックについて、確認を後回しにしてしまうことがあり、徹底できていなかった。今後は印刷前の確認を習慣化し、不要な印刷の削減に努める。
・裏紙仕様	○	
・ミスコピーの防止	△	



ペーパレス化 取組中



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	2.5	3.0	4.0	4.5	5.0	3.5	5.0	4.0	3.0	3.0	3.0	5.0	45.5
2025年	3.0	4.0	4.5	3.0	4.0	3.5	4.5	4.0	6.0	5.0	5.0	5.0	51.5

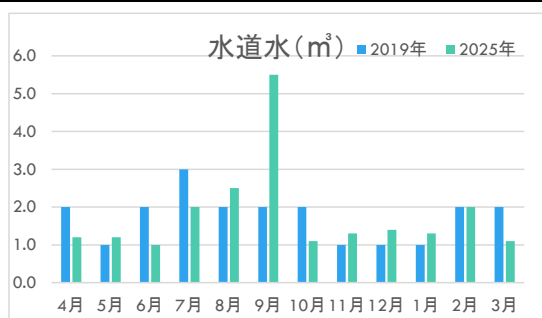
(kg)

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成 達成率97.1%
・従来通り廃プラ、木くず、紙くず、金属	△	未達成理由としては、8-9月に埋立処分になる廃棄物を大量に受入処理した影響と考えられる。ほかの廃棄物に関しては従来通りの方法で分別し、問題点は見られない。取組維持継続。
・手選別による仕分け強化	○	
・保管中の廃棄物がほかの廃棄物と混ざらないような設備構造	○	
・廃棄物受入混入禁止物チェック	○	



一般廃棄物、危険物の持込やコンテナへの混入が多い
ため、排出業者への仕分方法の指導を行っている
(注意喚起通知の一部)

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成 達成率97.2%
・節水運動	△	未達成理由としては、粉塵飛散防止の水散布をした月(8-9月)影響が残ったと考える。取組維持継続



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	2.0	1.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	21.0
2025年	1.2	1.2	1.0	2.0	2.5	5.5	1.1	1.3	1.4	1.3	2.0	1.1	21.6

(m³)

人材を活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・職場環境の改善	○	社員の健康保持とワークバランスの確保を大切に考え、効率的な働き方を推進しています。業務は所定労働時間内に終わることを基本としています。今後は加入団体のイベントなどにも参加促進を行っていこうと考えています。
・社員の労働環境改善	○	
・社員意識向上	○	
・社員へのコミュニケーション促進	△	



環境に配慮したIT化の促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・顧客要求の変化への対応	○	電子マニフェストおよび電子契約の利用は増加傾向にあり、これらの電子化を通じた業務効率化と環境負荷低減を推進していますが、電子マニフェストの利用頻度が低い排出事業者においては、操作に不慣れなケースも見られるため、作成手順をまとめたマニュアルを配布し、入力ミスの防止に取り組んでいます。
・電子データー化、IT化の促進	○	



電子マニフェスト導入推進



事業所の取組紹介



当社は廃棄物の適正処理と資源循環の推進に取り組んでいます。

廃棄物の仕分け工程で発生した土（樹木、伐根に付着した自然土）については、再利用可能なものを選別し、社内の緑化活動や家庭菜園に活用しています。

これにより、廃棄物量の削減と資源の有効活用を図るとともに、社員が自然と触れ合いながら環境への理解を深める機会にもつながっています。今後も、事業活動と社員参加型の環境保全活動を両輪として、循環型社会の実現に貢献していきます。



健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）の申請を予定しており、持続可能な事業運営の一環として従業員の健康管理を強化していきます。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬及び中間処理業許可、契約締結・マニフェスト適正管理（詳細許可内容確認）
家電リサイクル法	再商品化に必要な料金の支払い 適正処理（テレビ・洗濯機・エアコン・冷蔵庫）
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い フロン回収 適正処理（車両全般）
資源有効利用促進法	パソコンメーカー自主回収の協力義務
消防法	消防設備の点検（構内・事務所）
自動車NOx・PM法	窒素酸化物排出基準・粒子状物質排出基準の適用（運搬車）
フロン排出抑制法	フロン類使用の合理化及び管理の適正化、廃棄時のフロン回収（エアコン室外機）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

取り組み期間中、外部からの苦情・要請等はありませんでした。

確認日：2026年3月31日

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2026年1月21日	■実施場所 処分場
■参加者： 代表 事務員 作業員（2名）	■実施内容： ・処理受託時の分別徹底 ・消火器設備の点検
■評価： 産業廃棄物に混入したバッテリーが火災の 主要因となることを理解し、発見・仕分け・手選別の重要性を十分に認識したと評価する	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子 バッテリー、電池、ライター、たばこ等の火災原因となる廃棄物が可燃性廃棄物に混入されやすく、衝撃や破砕により発火する恐れがあるため、排出業者への注意喚起、処分を行う作業員への分別指導を行った。	
  	
  	
写真の廃棄物は実際に同時混入していたものであり、 衝撃によるバッテリーの発火がライターやたばこ、 練炭へ延焼する可能性を考えると、大事故につながり得る。	

《事業継続力強化計画 認定》

■認定日： 2025年4月9日

■目的・取組： 大阪府交野市における自然災害リスク（今後30年以内に震度6弱以上の地震発生、交野市総合防災マップに示される土砂災害の可能性、台風による風害など）を踏まえ、事業の継続と従業員の安全確保を目的として「事業継続力強化計画」の認定を取得しました。



本計画では、地震・土砂災害・台風などの自然災害に加え、近年の新型コロナウイルス感染症のような感染症リスクも対象とし、事業活動への影響を最小限に抑えるための体制整備を進めています。

■想定する主なリスクと対策：

- ・ **地震への備え** 設備の転倒防止、重要データのバックアップ、災害発生時の安全確保
- ・ **土砂災害リスクへの対応** 交野市総合防災マップを基に、事業所周辺の危険箇所を把握
避難経路の確認や従業員への周知
- ・ **感染症対策** 手指消毒・換気・体調管理の徹底
事業継続に必要な衛生管理体制の整備

代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度は、個人が所有するモバイルバッテリーの発火事故を耳にする機会が多くありました。これに伴い、バッテリー付き家電や工具など、一部の機械類の配送が制限される事例も報告されています。

当社が受託する廃棄物においても、バッテリー、電池、ライター、スプレー缶などの混入が見られます。

特にリチウムイオン電池は、衝撃・圧縮・破損により容易に発火する危険性があります。

レポート内の『緊急事態対応の試行・訓練』でも報告したように、発火原因となる物と可燃性廃棄物が同時に混入すると、互いに燃焼を助長し、小規模な火災が大規模火災へ拡大する要因となります。

また、外見から判別しにくい内蔵型バッテリーを含む機器が増加しており、処理作業中の見落としリスクも高まっています。

こうした状況を踏まえ、手選別の精度向上が火災防止に直結すると考えており、受入時のチェック体制を強化するとともに、破碎前の手選別工程を確実に実施し、危険物の除去に努めてまいります。

今年度の環境経営計画の取組は、軽油燃費の向上を達成したものの、その他の主要目標については未達成という結果になりました。この結果を真摯に受け止め、次年度に向けて目標値および実施計画の再点検・見直しを指示します。

ガソリン燃費、一般廃棄物、リサイクル率、水道水使用量については要因分析（大型案件の受入や一時的な水散布増など）が明確になされているため、手選別の徹底や排出者への適正分別案内を維持・強化し、改善を定着させていきます。

一方、電力使用量については長期的な猛暑による空調負荷が大きく影響しているため、次年度において老朽空調設備（13年目）の省エネ機種への更新を具体化し、設備面と運用の両面で抜本的な負荷低減を図ってまいります。

「事業継続力強化計画」の認定を取得し、防災・減災への取り組みが一段と強化されました。今後も地震・土砂災害・台風・感染症などのリスクに備え、事業継続体制の向上に努めてまいります。

2026年3月31

代表取締役 田中 茂年

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

社会貢献活動

社員一人ひとりが環境保全への意識を持ち、地域清掃活動に取り組んでいます



会社周辺の清掃活動（ごみ拾い）の様子



ひと月で集めた
タバコの吸い殻

子どもたちの通学路となっている
地域です
思いのほか多くの吸い殻が落ちて
おり、日常の中でのマナー意識の
低さを実感しました
今後も地域の環境美化に
努めたいと思っています

社会貢献とし、「募金・寄付支援活動」
を実施しています

募金・寄付支援として、

【ボトルキャップ】・【使用済み切手】・【ベルマーク】を
収集し、国内外の医療・福祉・教育など、
様々な事業の支援を行います



交野市の伐採作業を補助
重機で樹木等の積込

会社の周りは小学生の
通学路でもあるため
子どもたちが安全に通学
できるよう危険と思われる物の撤去をボランティアでしています



小学生の「環境・リサイクル」の授業においてごみ分別を学ぶ施設見学

廃棄物の分別方法の話
ペットボトルリサイクルについての話
機械製品の分解体験



□編集後記

今年度の環境経営レポートは、当社の歩みを振り返るとともに未来への確かな指針を込めて取りまとめました。

小規模な当社が歩みを止めず前進できた背景には、審査員による温かく的確な伴走支援があります。レポート作成におけるきめ細やかな操作・表現方法のご指導をはじめ、廃棄物のより高度で細やかな分別手法や目まぐるしく変わる環境法規の最新情報に関する具体的なお助言は、現場運用の実効性を大きく高めてくれました。

さらに、審査を通じて後押しをいただいた中小企業強靱化法に基づく「事業継続力強化計画」や「健康経営優良法人」の認定取得は、災害や有事に強い組織基盤を築くだけでなく、従業員が誇りと安心感を持って長く働き続けられる「雇用の安定化」という大きな実を結んでいます。

環境経営を軸に、防災と健康を一体化させた経営革新の手応えを胸に、私たちは「誤美から護美へ」の志を高く掲げ、地域に信頼される資源循環企業として、社員一丸となって次なるステージへ歩みを進めてまいります。

環境管理責任者